

平成 24 年度事業報告

1. 事業概要

本年度も「常に人々の健康と生活文化の向上に奉仕する」というサンスターグループの目標を見据えて、これまでの財団の歩みをふまえ「財団活動の国際化」と「歯科領域に軸足を置きつつ、隣接する医科領域への活動拡大」を事業方針とし、「社会貢献」の道を厳しく追及してまいりました。

「財団活動の国際化」については、昨年につき、オーストリアの国際 NPO 組織フォルクスヒルフェからの東日本大震災に対する義捐金をもとに、宮城県歯科医師会へ移動式歯科診療装置1台、福島県相馬市保健課へ移動式レントゲン装置1台を寄贈、さらに宮城県を中心に図書 2,300 冊を寄贈しました。

また、2012年10月12日には、ジュネーブにて「肥満・糖尿病、栄養と口腔保健推進セミナー」(学術講演事業)を開催し、医師、歯科医師など計 248 名の参加がありました。

また、英国ロンドンにヨーロッパ財団を設立すべく、活動内容等の検討を進めています。

「歯科から医科への活動領域の拡大」については、ハーバート大学医学部附属病院ジョスリン糖尿病センターとの連携による「肥満・糖尿病、栄養と口腔保健推進セミナー」(学術講演事業)を京都、横浜にて開催。歯科医療職のみならず、数多くの医師、看護師、管理栄養士など計 589 名の参加がありました。

また、助成事業「金田博夫研究助成基金」では、平成 24 年度ジョスリン糖尿病センター留学生募集を行い、医師1名を選考しました。さらに、本年度は当助成事業の広報活動としてマスコミ、医療業界者を対象としたジョスリン留学報告会を2月に実施しました。

当財団の主たる事業である、歯科健診事業と歯科診療事業に関しては、本年度も質的な向上に努めました。歯科健診事業では、昨年(平成 23 年度)のサンスター社員特定保健指導対象者に行いました“行動科学を用いた歯科保健指導のモデル事業”において歯科保健に対する行動変容が認められました。この結果をふまえ、本年度は要治療者の減少と歯科保健行動の改善を目的に当モデル事業の拡大に努めました。歯科診療事業では、歯周病患者に対する認定歯科衛生士(6名/11名中)による SPT、カウンセリングルームを活用した患者さまとのコミュニケーションを重視してまいりました。

財務面では、健保組合の財政悪化による産業歯科健診実施健保組合が減少する中、一層の社会貢献が出来る「強い財務体質作り」を目標に全職員一丸となって財務体質改善の努力を継続してまいりましたが、経常収益が 456.6 百万円(前年 452.9 百万円)、経常費用が 463.4 百万円(前年 453.6 百万円)、当期経常増減額(税引前営業利益)は▲6.8 百万円(前年▲0.7 百万円)となりました。さらに、経常外収益としてフォルクスヒルフェからの東日本震災義捐金 4.1 百万円、経常外費用として東日本震災支援活動として 5.7 百万円を支出したため当期一般正味財産増減額(当期利益)は▲8.7 百万円(前年▲26.0 百万円)となりました。

2. 事業報告

【学術講演事業】

「肥満・糖尿病、栄養と口腔保健推進セミナー」を京都、横浜にて開催。

平成 21年(2009 年)3 月大阪での第1回開催から 5 回目となる同セミナーを、平成 24 年 4 月 22 日(日)リーガロイヤルホテル京都にて 280 名の専門家の方々にご参加いただき開催、さらに第 6 回目を平成 25 年 2 月 3 日(日)新横浜プリンスホテルにて 309 名の専門家の方々にご参加いただき開催しました。

*「肥満・糖尿病、栄養と口腔保健推進セミナー」

糖尿病専門医、糖尿病療養士、管理栄養士、歯周病専門歯科医師等を対象とした糖尿病と歯周病の関わりについての教育シンポジウム

◆「肥満・糖尿病、栄養と口腔保健推進セミナー」これまでの実施状況

第 1 回	大 阪	平成 21 年 1 月 31 日	参加者数	455 名
第 2 回	東 京	平成 21 年 4 月 19 日	〃	525 名
第 3 回	名古屋	平成 22 年 3 月 22 日	〃	291 名
第 4 回	福 岡	平成 23 年 7 月 31 日	〃	279 名

【助成事業】

① 金田博夫研究助成基金 平成 24 年度海外留学生を決定しました。

本年度で4年目となりますハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センターへの留学生の募集・審査を行い、医師 2 名の応募の中から下記1名の留学を決定しました。

◆平成 24 年度受給者(1 名)

医師	佐竹 栄一郎 (37 歳)
留学期間	平成 25 年 8 月～平成 27 年 7 月
所 属	浜松医科大学 小児科医
研究課題	脂肪細胞の分化・分布・増殖決定因子の解明

*金田博夫研究助成基金(海外留学助成)

糖尿病、糖尿病合併症の予防・治療を目指した基礎研究ならびに臨床への応用研究を支援する。歯科分野、医科分野、栄養学分野、生化学分野等の若手研究者を対象として、当財団が指定する海外の大学等研究機関に2年間留学する渡航費、ならびに滞在費を補助することにより、わが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的として平成 21 年度に創設されました。

◆留学先

米国マサチューセッツ州ボストン市ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センターの研究室を予定しております。

◆助成内容

留学期間は最長2年間とし、渡航費及び滞在費(2年間合計/11万ドル+100万円)を支給する。

◆平成 21 年度受給者(2 名)

歯科医師 水谷 幸嗣 (31 歳)
留学期間 平成 22 年 4 月～平成 24 年 6 月
所 属 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科歯周病学分野
研究課題 糖尿病患者の歯周治療ならびにインプラント治療へのレーザー
応用に関する研究

医師 福井 健司 (36 歳)
留学期間 平成 22 年 6 月～平成 24 年 8 月
所 属 大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌・代謝内科学
研究課題 膵細小血管障害と糖尿病

◆平成 22 年度受給者(1 名)

医師 秋山 優 (35 歳)
留学期間 平成 23 年 4 月～平成 25 年 3 月
所 属 山口大学大学院医学研究科
応用医工学系学域病態制御内科学分野
研究課題 インスリンシグナルによる小胞体ストレス応答制御の
可能性についての検討

◆平成 23 年度受給者(2 名)

医師 藤坂 志帆 (35 歳)
留学期間 平成 25 年 1 月～平成 26 年 12 月
所 属 富山大学附属病院 内科医
研究課題 肥満に伴う脂肪組織の炎症とインスリン抵抗性の発症メカニズムに
ついて

歯科医師 片桐 さやか (32 歳)
留学期間 平成 24 年 5 月～平成 26 年 4 月
所 属 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野
研究課題 糖尿病患者における歯周組織の血管障害メカニズムに
関する研究

② 平成 21 年度海外留学生による留学報告会を社内外にて開催しました。

平成 21 年度留学生の福井健司先生(大阪大学大学院)、水谷幸嗣先生のジョスリン
糖尿病センターにおける研究活動に関する社内外報告会を開催しました。

- ・社内－社内講演会 平成 24 年 11 月 22 日(金)
財団理事会 平成 24 年 11 月 23 日(土)
- ・社外－プレスセミナー 平成 25 年 2 月 1 日(金) 東京帝国ホテル

③ (公社)日本歯科衛生士会主催学術賞(サンスター財団賞)に協賛しました。

本年度は、優勝賞 1 名、奨励賞 3 名が授賞しました。

- 優秀賞 佐藤 恵子
- 奨励賞 松本 厚枝、星野 由美、藤原 愛子

*** 日本歯科衛生士会学術賞**

学術賞は平成 18 年に創設され、歯科衛生の向上と実践に根ざした学術研究において優れた成果をあげ、人々の健康と福祉に寄与する研究に対し、その功績を称え、表彰されます。本学術賞は、学術論文賞(サンスター財団賞)と学術発表賞(ライオン歯科衛生研究所賞)があります。

【 調査研究事業 】

本年度も歯周病を中心とした臨床的検討情報の提供を、日本歯科衛生学会等の学会及び研究会を通じて行いました。(活動詳細は別紙「4. 事業活動詳細報告(5)～(6)」参照)

【 臨床教育事業 】

大阪、兵庫地区の歯科衛生士学校の実習生 10 名に対し、のべ 79 日間の臨床の現地教育を行いました。(神戸常盤短期大学 2 名、大阪歯科学院専門学校 4 名、太成学院大学 4 名)

【 歯科健診事業 】

予防事業部が行った産業歯科健診活動および歯科保健活動の対象者は、今年度は 669 件・72,329 人でした。(活動詳細は、「4. 事業活動詳細報告(1)～(3)」参照)

事業収益の柱である歯科健診事業においては、顧客である健康保険組合の財政が厳しく、実施継続が毎年不安定な状況下にあります。本年度の歯科健診受診者数は最大手の顧客であったキャングループ健保組合の中止により前年比 9,130 人減の 34,334 人と大きく減少しました。このような中、ドラッグストアの薬剤師、医療機関の看護師等を対象とした歯科保健セミナーなどの歯科保健指導活動を事業会社との連携の中で進めてまいりましたが、同事業における事業収益は前年比 12 百万円減の 177 百万円となりました。事業費用においても事業運営の効率化に努めてまいりましたが、当期一般正味財産増減額(当期利益)は前年比 11 百万円減の 5.6 百万円となりました。

(1) 産業歯科健診活動

口腔内の健康維持増進を目的に、今年度は全国 294 事業所・34,334 人(対前年同期比 79.0%)の企業職員・団体構成員に対し歯科健診を実施、また 1 事業所・86 人に対し歯科保健指導を実施しました。企業等における歯科セミナー・歯科啓発イベントは 44 件、2,344 人に対し実施しました。

サンスターグループ社員に対する歯科健診におきましては、サンスター健康保険組合協力の下、歯科医院への受療率向上を目的とし、従来の歯科健診に 2 次フォローとして歯科保健指導を実施しました。

(2) 8020 運動啓発などの歯科保健活動(業務委託収入含む)

「健康日本 21」政策に準拠し、歯科保健関係部局・歯科医師会等と連携したイベントを全国 88 件・16,264 人を対象に実施しました。

大手量販店様でのミッフィーイベントやドラッグストア・ホームセンター等に来店される親子連れに対し、オーラルヘルスケアの重要性、歯周病と全身疾患との関わりなどを中心に、

正しいお口のケアの方法とあわせ歯科健康指導を実施。又、公益社団法人東京都葛飾区歯科医師会主催の「ファミリー歯磨き教室」にて地域住民親子に対するブラッシングセミナーを実施しました。

(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

母親教室・ハミガキ教室・フッ素塗布・歯科健康教育等の対象者と学年に合わせた指導メニューにより、全国 212 件・18,279 人を対象に実施しました。

ブラッシング指導は、高槻市教育委員会との連携により高槻市内小学校3年生、中学校1年生を対象に実施。フッ素塗布は大阪市学校歯科医会の事業に参画し、大阪市内北部の小学校を中心に実施。幼稚園・保育園に対しては紙芝居等の教材によるハミガキ教室を近畿エリア中心に実施しました。同様に東京都荒川区教育委員会と公益社団法人荒川区歯科医師会（学校歯科医会）と連携し荒川区小学校3年生、5年生、中学校1年生を対象にブラッシング指導とフッ化物洗口指導を行いました。

(4) 自閉症児に対する歯科保健活動

養護教諭及び障がい児教育担当教員、自閉症支援の専門療育スタッフと連携し、障がいのある子どもたちの歯科保健の向上をはかることを目的とし、自閉症のお子様への歯みがきの指導及び指導教材の斡旋を本年も継続して実施。指導教材の斡旋開始(2007年)から累計 2,531 冊、絵カード 543 組、動画 519 本を提供してきました。

【 歯 科 診 療 事 業 】

本年度は当財団附属千里歯科診療所において、前年比 698 人減ののべ 24,749 人(障がい児{者}489 人)の患者に対し診療ならびにメンテナンスを行いました(内、新患者は前年比 109 人減の 806 人)。また、大阪府・堺市・大阪市・兵庫県の小児慢性特定疾患治療研究事業指定診療所として、本年度延べ 121 人の1型糖尿病患者の歯周病治療も行いました。

事業収益は、歯科医師1名減及び矯正歯科診療の廃止による影響も受け、前年比9百万円減の 192 百万円となりました。このような中、歯科衛生士による患者様ひとりひとりへのメンテナンスの充実、自費診療の提案を充実することによる利益向上策を導入し、当期一般正味財産増減額(当期利益)は前年とほぼ同額の 20 百万円となりました。

【商品販売】

官公庁(独立行政法人 国立病院機構など)等の公的団体を対象に、各団体の福利厚生の一環として口腔ケア商品の斡旋を積極的に推進してまいりました。その結果、前年比 4 百万円増の 18 百万円の商品販売収入となりました。

3. 補助金・寄附金収入

1. 補助金

大阪府より障がい者歯科診療補助金 729,326 円を交付されました。

2. 寄付金

下記団体等より、合計 71,757,030 円の寄付を受け取りました。

個人 5名	450,000 円
エクセルエイド少額短期保険株式会社	10,200 円
(歯周病・糖尿病の方でも入れる医療・定期保険を扱う少額短期保険事業会社)	
フォルクスヒルフェ(Volkshilfe Solidaritaet Auerspertrasse)	4,096,830 円
(9つの組織の連合体で、オーストリアのウィーンに本部を置く社会福祉組織。 1947年に第二次世界大戦を乗り越えるために人々を支援する目的で創設された。)	
サンスター株式会社	56,500,000 円
STARLECS 株式会社	10,000,000 円
サンスターマーケティング株式会社	700,000 円

■当財団職員数 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

()内人数は非常勤

	千里歯科診療所	予防事業部	事務局	合計
歯科医師	4 人			4 人
歯科衛生士	11 人	12 人		23 人
営業・事務	3 人	3 人	2 人	8 人
顧問			1 人(1 人)	1 人(1 人)
合計	18 人	15 人	3 人(1 人)	36 人(2 人)

以上

4. 事業活動詳細報告

(1) 産業歯科健診活動

①企業・団体の事業所での歯科健診	294事業所 34,334人
②サンスター健保との連携による歯科健診及び歯科保健指導	2件 13人
③企業・団体の事業所イベント・個別歯科保健指導・歯科保健セミナー	44件 2,344人

(2) 8020運動啓発などの歯科保健活動

①地域・保健所・歯科医師会等での行事・量販店顧客への指導	88件 16,264人
②キャンペーン等イベントでの歯科保健指導	1件 96人
③得意先に対する歯科保健指導	5件 117人
④コープ組合員様向け・社内行事等における歯科保健指導	21件 848人

(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

①保育園・幼稚園・母親教室における歯磨き指導・歯科健診	29園 5,652人
②小・中学校における歯磨き指導・フッ化物塗布	184校 12,627人
③心身障がい児(者)施設の訪問歯科健診・保健指導	1件 34人

(4) その他歯科保健活動

1型糖尿病患者(IDDM 近畿つぼみの会) 歯科検診及び歯科保健指導(8月)

宮本、田中、宮辻

(5) 主な研究発表、講演

1月 岡山大学歯学部臨床特別講義 鈴木

(6) 主な学会・講演会参加

4月	日本臨床歯周病学会関西支部	鈴木、福池、野田、田中、丸山、青山、宮辻
5月	日本補綴歯科学会(横浜)	鈴木
	日本小児歯科学会(兵庫)	宮本
	日本歯周病学会(札幌)	横小路
6月	日本臨床歯周病歯科学会(東京)	鈴木、福池、野田
	近畿北陸地区歯科医学大会(大阪)	宮辻、近藤
7月	大阪府歯科衛生士会訪問口腔ケア研修会(大阪)	福池
8月	兵庫県歯科衛生士会研修会(神戸)	河津
9月	日本口腔インプラント学会(大阪)	鈴木、丸山
	日本歯科衛生学会(盛岡)	福池
	日本歯周病学会(茨城)	横小路、田中
	感染対策歯科衛生士講習会(東京)	野田
	大阪府歯科衛生士会研修会(大阪)	野田
11月	日本歯科医学会総会(大阪)	鈴木、福池、宮辻、青山
	日本デンタルショー(大阪)	鈴木、福池、宮辻、青山

- | | | |
|----|---------------------------|-------------------|
| | 日本臨床歯周病学会関西支部(大阪) | 鈴木、福池、野田、青山 |
| 1月 | 大阪府歯科衛生士会学術集会(大阪) | 福池 |
| 2月 | JSP・JACP 認定歯科衛生士合同研修会(大阪) | |
| | | 鈴木、福池、野田、河津、前田、宮辻 |
| 3月 | 大阪府歯科衛生士会研修会(大阪) | 福池 |

以上